

タイトル

別室にいても、教室でプレゼン発表して、意見を共有できる！

活用目的
の概要

ケガや病気など、様々な理由によって別室を利用する生徒は増えています。その中で、別室を利用する生徒の学習の機会が阻害されることがあってはなりません。たとえ場所が違って、できるだけ同じ活動に取り組み、協力して進めることができる環境の実現には、タブレットの活用が不可欠です。

使用アプリ: Google Meet・スライド・キャンバ 等

【活用概要】

- (1)実施日 : 令和5年12月7日
- (2)実施学年: 2年生
- (3)実施領域: 社会科・地理・日本の諸地域(近畿地方)

(4)実施内容の紹介(概要)

「近畿地方のすごいところを探して分析し、岡山の未来につながる提案をしよう」を学習課題とし、テーマ設定・情報収集・整理分析・近畿地方の都道府県と岡山県との比較などの活動を踏まえ、プレゼン作成に取り組んだ。

本時は、全3時間中の最後、発表の時間。あまりに自然に発表が進んでいたため、発表する生徒がその場にいないのがわからないほどだった。別室にしながら何の抵抗もなくオンラインで発表できる生徒。それを当たり前のこととして受け入れ、傾聴の姿勢で臨み、コメントし合うグループの生徒の姿に、日頃の先生方の指導の成果を感じるとともに、これからの新しい学習の可能性を実感した。

タブレットが普及し、生徒が使いこなす現状においては、もはや場所など関係なく、どこにしようと互いに発信し合って学習を進めることができるのだと再認識させられた。

